

4 重点分野と施策の展開

基本目標及び基本方針をふまえ、3点を重点分野とし、それぞれの分野ごとに施策を展開します。

重点分野Ⅰ 県土の強靱性

激甚化・頻発化する災害に備え、安心して住み続けられる地域をめざします。

近年、激甚化・頻発化する災害に対応するため、重要物流道路※や緊急輸送道路※などの強化、災害時における関係機関との連携した体制づくりなどを進め、ハード・ソフト両面から災害に強いみちづくりを進めます。また、新たな技術を積極的に活用した効率的な点検や適正な維持管理の実施により、インフラの長寿命化をめざします。

SDGsへの貢献

施策(1) 災害に強い みちづくり



施策(2) 災害対応の迅速化をめざした みちづくり



施策(3) いつでも安心して移動できる みちづくり



重点分野Ⅱ 持続可能で快適な暮らし

子どもからお年寄りまで、皆が快適に暮らせる、持続可能な地域をめざします。

人口減少への対応として道路の集約や連携を強化するとともに、環境にやさしい社会の実現のため、公共交通の利用促進や誰もが利用できる道路環境の創出を進めます。

また、道路空間の多様な活用により、歩きたくなるみちづくりをめざします。

SDGsへの貢献

施策(1) 誰もが安全に移動できる みちづくり



施策(2) 脱炭素社会の実現に向けた みちづくり



施策(3) 歩きたくなる みちづくり



施策(4) 快適な暮らしを支える みちづくり



重点分野Ⅲ 観光や産業の振興

観光や産業の振興を通して、成熟した豊かな地域をめざします。

自然を生かした観光や各地域の強みである産業等の支援をさらに進めるため、県内の地域間の周遊性や県内外へのアクセス性の向上をめざします。

また、道路環境整備により、信州を訪れる人が快適で誰もが観光を楽しめるみちづくりをめざします。

SDGsへの貢献

施策(1) 人・モノ・サービスが行き交う みちづくり



施策(2) ストレスなく快適に移動できる みちづくり



施策(3) 観光を満喫できる みちづくり



◆長野県総合5か年計画と本ビジョンにおける施策との関連づけ

長野県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン3.0」と本ビジョンにおける施策との関連を以下に示します。

本ビジョンにおける基本目標	重点分野	施策	長野県総合5か年計画 「しあわせ信州創造プラン3.0」						
			持続可能で安定した暮らしを守る			快適でゆとりのある社会生活を創造する			
			持続可能な脱炭素社会の創出	災害に強い県づくりの推進	社会的なインフラの維持・発展	県民生活の安全確保	地域の特徴と自然の恵みを生かした快適で魅力ある空間づくりの推進	本州中央部広域交流圏※の形成	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進
つなぐ・まもる・いかす 信州のみちづくり	Ⅰ 県土の強靱性	(1) 災害に強い みちづくり		●					
		(2) 災害対応の迅速化をめざしたみちづくり		●					
		(3) いつでも安心して移動できるみちづくり			●				
	Ⅱ 持続可能で快適な暮らし	(1) 誰もが安全に移動できるみちづくり				●			
		(2) 脱炭素社会の実現に向けたみちづくり	●						
		(3) 歩きたくなる みちづくり					●		
		(4) 快適な暮らしを支えるみちづくり						●	
	Ⅲ 観光や産業の振興	(1) 人・モノ・サービスが行き交うみちづくり						●	
		(2) ストレスなく快適に移動できるみちづくり							●
(3) 観光を満喫できる みちづくり								●	

◆課題と対応する施策

本ビジョンにおいて示した課題と対応する施策との関連を以下に示します。

本ビジョンにおける基本目標	重点分野	施策	課題1		課題2				
			人口減少・高齢化の進行		持続可能な社会への移行				
			高齢化の進展による歩道整備に対するニーズの高まり	高齢者の救急搬送者数の増加・日常における通院頻度の上昇への対応	道路インフラの省エネ化、都市の郊外化や高い車依存からの脱却による温室効果ガスの削減	誰もが利用しやすい道路環境づくり	コンパクト＋ネットワーク※の形成	まちなかにおけるグリーン化による自然環境や景観への配慮	人中心とした賑わいのある道路空間の活用
つなぐ・まもる・いかす 信州のみちづくり	Ⅰ 県土の強靱性	(1) 災害に強い みちづくり		●					
		(2) 災害対応の迅速化をめざしたみちづくり							
		(3) いつでも安心して移動できるみちづくり							
	Ⅱ 持続可能で快適な暮らし	(1) 誰もが安全に移動できるみちづくり	●		●	●			
		(2) 脱炭素社会の実現に向けたみちづくり		●	●	●	●	●	
		(3) 歩きたくなる みちづくり	●		●	●	●	●	●
		(4) 快適な暮らしを支えるみちづくり	●	●	●	●	●		
	Ⅲ 観光や産業の振興	(1) 人・モノ・サービスが行き交うみちづくり		●					
		(2) ストレスなく快適に移動できるみちづくり	●	●	●	●			●
(3) 観光を満喫できる みちづくり		●		●	●		●	●	

課題3				課題4				課題5			課題6			
事故・災害・老朽化等に対する安全性の確保				社会の広域化・国際化				高度情報化社会の進展			限られた予算			
事故割合が年々増加する高齢者事故の軽減	身近な道路で発生する歩行者・自転車事故の軽減	自然災害の激甚化・頻発化に伴う災害に強いみちづくり	道路施設の老朽化に伴う計画的な補修や更新	通勤圏など生活圏域拡大への対応	大都市圏へのアクセス性の地域間格差解消	リニア中央新幹線 [※] 開通効果の波及	インバウンド回復への対応	交通量等のビッグデータ [※] の道路計画への活用	AI [※] (人工知能)など新技術の活用	ICT [※] 等を通じた情報収集、自動運転や	施工・管理における3次元データの効率的・効果的な活用	選択と集中による効率的・効果的な事業進捗	ソフト事業やICT [※] 等を活用した更なる事業の効率化	関係機関との連携による効果の最大化
●		●	●		●	●						●		
		●	●						●	●		●	●	●
			●					●	●	●		●	●	
●	●						●					●		
				●	●			●	●	●		●		
						●	●					●	●	●
		●	●	●	●	●	●					●		
		●	●	●			●			●		●		●
							●			●		●	●	●